

# もっとワクワクしよう。

こんにちは、

ケントミヤザキ  
建図宮崎です。(\*1)

アーキテクトビルダーとして (\*2)

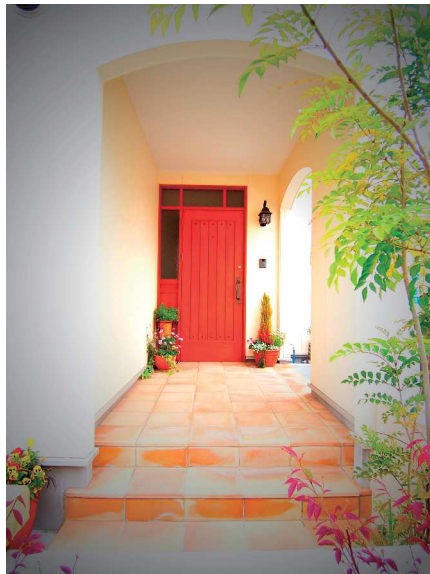
高性能木造住宅に (\*3)

パッシブソーラーデザインを (\*4)

ほどこ  
施し、健康と快適性に優れた (\*5)

次世代につなぐ住宅を (\*6)

一緒に造り続けています。(\*7)



\*6



■住み継がれる家であるためには長く愛される『機能』『性能』『デザイン』と『街並みへの配慮』などバランス良く考える事がとても大切だと考えます。長く愛される家、実現の延長線にこそ『環境貢献』へのアプローチが開かれると信じます。

\*1

\*2

■アーキテクトビルダーとは、設計者を中心に設計・デザイン・施工までをトータルに行う建築家と職人の集団で、住宅や店舗など『唯一性の高い』建築において、『最も低コストで高品質な建築を提供できる』手法と言われています。



ケントミヤザキ  
株式会社 建図宮崎

〒880-0001 宮崎市橘通西5丁目3-29

Tel 0985-22-1777 Fax 0985-22-1778

kentmiyazaki.com

>>> kentmiyazaki.com

\*3

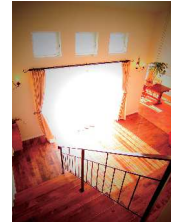


■先ず家族を災害から守る丈夫な家であること。構造の安定が図られなければ、生活を楽しむゆとりは生まれません。私達は台風や地震等の外力に対し木構造を床・壁・屋根の六面体モノコック構造として捉え、床など水平構面がダイヤフラムとして外力に抵抗する事を踏まえた設計をしています。同時に火災に強い木造である為に構造内に空気の通り道を造らない事。加えて人間として使いやすく、機能的で、合理的な間取りを持つことも大変重要な要素です。

This should be a first priority.



\*4

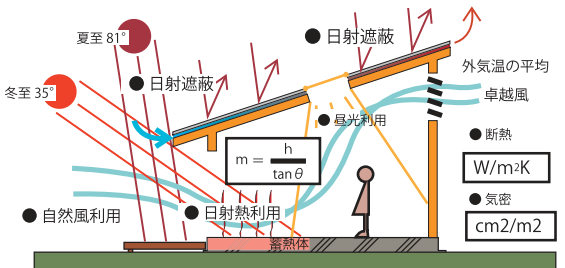


■パッシブデザインは設計者にとっては少々面倒ですが、実現すると居住者のメリットは数え切れません。私達は『機械設備をどう選ぶのか』ではなく、①建物を工夫して②建物の周りにおける自然エネルギー(太陽・風・熱)を③最大限に活用・調整できるようにし④質の高い室内環境を実現させながら⑤健康及び省エネルギーに寄与しようとする⑥建築設計の考え方とその実際の手法です。■3.11以降、エネルギーを使わず真冬

\*5



でもある程度の室温を確保できることの重要性が高まっています。加えて、温熱やバリアフリー等、室内環境の整備が住人の健康に与える効果が具体的に解明されつつあります。太陽の熱や光を利用して、家全体の温熱環境を整えヒートショックによる脳卒中や、遮熱や通風により真夏の熱中症を予防し、家庭内事故の軽減に繋がるのです。適切な室温など具体的な目標を設定する為、その地域・周りの環境など、土地の特性を読むことから始める必要があるのです。



\*7

■昨年、私達が設計・施工させて頂いたお家が120棟を超えました。『120の想いと、120のエピソード』『120の安心』。これからも皆様のご期待に応えられるよう、本社移転に伴い、建築図書館『グラム』を開業致しました。『グラム』には2,500冊を超える蔵書と皆さんが自由に住宅について調べ、語って頂く為のカフェを併設し、家具や薪ストーブ、雑貨類と共に楽しんでいただける空間としました。宮崎で未長く愛される事を期待しています。お気軽にご利用くださいませ。

